

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	青森県	事業実施主体	青森県・深浦町	地域再生計画名	美しい自然豊富な西海岸地域の魅力を活かした住みよく・にぎわいのあるまちづくり計画
計画期間	平成28年度から令和4年度	評価責任者	青森県農村整備課長・深浦町建設水道課長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標 総数		達成 数				
	指標 1	年間観光入込客数の増加	951 千人	H26	1,027 千人	H30	957 千人	1,046 千人	R5	403 千人	×	3	1	R2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のほか、夏季の豪雨災害が連年発生し、大幅に観光入込客が減少した。
	指標 2	若年層向け住宅の整備	0 棟	H26	8棟	H30	7 棟	12 棟	R5	12棟	○			町内の拠点間のアクセスが改善されることにより、定住促進に向け順調に整備棟数を伸ばすことができた。
②地域再生計画に記載した 数値目標以外の波及効果の 実現状況	指標 1													
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
計画			中間年度 (H30)	最終実績										
特別措置を適用して行う 事業	広域農道	1.8km	0km	1.489km	今回の整備により、住みよくにぎわいのあるまちづくりに繋がっていくものと期待される。 一方、新型コロナウイルス感染症拡大以降伸び悩んでいる交流人口の増加を図るため、レジャー施設の滞在時間の確保や温泉宿泊施設など他の施設へのアクセス改善等、効率的な道路ネットワーク構築のため、早期の全線開通に向け、引き続き残区間の整備を進める必要がある。									
	町道	0.7km	0km	0.7km	当該路線で国道101号線と広域農道西海岸2期地区のアクセスが改善されたことにより、効率的な道路ネットワークが構築され、営農の利便性向上と農産物流通の効率化が図られている。									
その他の事業	－	－			－									
計画外で独自に実施した 事業	中山間地域等直接支払制度・多面的 機能支払制度の活用	R5年度実績 ①中山間地域等直接支払交付金 58集落協定 のべ565.21ha ②多面的機能支払交付金 4活動組織 のべ341.06ha			町内の農地の維持及び耕作放棄地の発生防止はもとより、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、各協定集落及び活動組織による各種取組が展開されている。 その成果により、町内の農地の機能維持及び農業関連施設の長寿命化が図られているとともに、集落ぐるみでの農村活動の維持、担い手の確保・育成が図られている。									
	地域包括ケアシステムの推進	地域全体で高齢者の暮らしを支える、医療・介護予防・生活支援が切れ目なく提供される支援体制の構築			町の地域包括支援センターが開催する地域ケア会議において地域課題の把握・分析・解決のための検討を行いながら、生きがい活動（通いの場）の推進や在宅医療・介護連携の推進と普及啓発、認知症施策の推進、見守り体制の整備、生活支援サポーター事業による買い物支援や除雪などの互助体制の構築など、必要な支援につなげている。									
	生産・加工・販売体制の確立	・町農水産物一次加工場を拠点とした地域6次産業化の推進 ・産直施設「海の駅ふかうら まるごと市場」の整備・開業			・生産・加工・販売を地域内で取り組む「地域6次産業化」を推進する拠点としてH24年に整備した町農水産物一次加工場を中核に、ふかうら雪人参をはじめとする地元産の農水産物の加工・販売に取り組み、地元産農水産物の高付加価値化が進められている。 ・遊休状態であった町の施設を産直施設に改修して開業したことにより、地元産農水産物の新たな販売拠点・観光物産拠点となっているとともに、町内の買い物弱者対策としても有効な店舗となっている。									
	新規就農対策	・深浦町新規就農者連絡協議会の設立 ・農業次世代人材投資事業による新規就農者への支援			・町内の新規就農者や若手農業者によるネットワーク組織を設立し、研修や意見交換による相互の情報交換や協力体制、スキルアップにつなげている。 ・農業次世代人材投資事業の給付金により、新規就農における経済的リスクを補い、就農後の経営安定を支援している。									
	滞在型・体験型観光の創出	地域資源を活かした観光メニューの設定			「食」による観光コンテンツで滞在時間を延ばし、世界自然遺産「白神山地」や「北前船寄港地」としての日本遺産をフィールドとしたトレッキングや散策、気軽にできる木工、環境共生型ガラス細工、工芸品の製作等のきめ細かい観光メニューで”深浦ファン”づくりに努めている。									
④評価方法	事業実施主体の青森県、深浦町、及び生産・流通関係者で構成する西海岸地域再生協議会を令和6年12月23日に開催し、最終目標値の実現状況に関する評価を実施													
⑤事後評価の公表方法	青森県、深浦町のホームページに掲載する （青森県ホームページ： <a href="https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/seibisuisinkouhukin.html">https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/seibisuisinkouhukin.html</a> 掲載時期：令和7年4月（予定）、深浦町ホームページ： <a href="https://www.town.fukaura.lg.jp/top.html">https://www.town.fukaura.lg.jp/top.html</a> 、掲載時期：令和7年4月（予定））													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画に基づき、道整備交付金を活用した農道整備と町道整備の一体的整備を行ったことにより、営農の利便性向上、農産物等の輸送時間の短縮につながるほか、南北に長い深浦町内の移動時間の短縮によって地域間のネットワークが強化され、医療機関へのアクセス時間短縮や災害時孤立集落の解消が図られる等、安心して暮らせる環境づくりが図られた。 一方、現時点では広域農道の全線開通に至っていないため、さらなる効用の発揮のために残区間の早期完成と全線開通が求められる。													
⑦今後の方針等	年間観光入込客数の増加については、連年の豪雨災害で被災した観光拠点へのアクセス道の早期復旧に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機としたインバウンド受入れ促進や各種イベントの開催、特産品開発等を行い、引き続き入込客数向上に向けた取組を継続する。若年層向け住宅の整備については現時点で目標を達成しているが、引き続き若年層の定住促進に向けた取組を推進する。夏秋トマトのR5販売額は高温障害に伴う品質低下で目標年間販売額を達成できなかったため、引き続き最終目標販売額達成に向け、遮熱や遮光を組み入れる等高温対策による品質向上を図り、最終目標値の達成に向けて年間販売額の向上に取り組む。 一方、本計画期間では広域農道「西海岸2期地区」の全線開通ができなかったため、早期の全線開通に向け、引き続き残区間の整備を進める。													